

## 平成30年度 理科教員研修会 報告書

報告者 静岡県富士見中学校・高等学校 教諭 増田絵莉

### 研修報告

1. 研修目標 「探求心を育む理科」
2. 期 日 平成31年2月26日 (火)
3. 会 場 静岡県私学会館  
〒420-0853 静岡市葵区追手町9番26号 TEL 054-254-8208
4. 参 加 者 県内私学理科教員18名
5. 日 程 13:15 ~ 13:30 受 付  
13:30 ~ 15:00 講 演  
演題「南アルプスの自然史」  
講師 増澤 武弘先生 (静岡大学名誉教授・客員教授)  
15:00 ~ 15:30 グループ討議  
議題「講演について」  
「理科の課題」
6. 講演の様子



増澤先生による講演

## 7. グループ討議の内容

### ① 講演について

- ・「表面は生きている」という表現が面白かった。
- ・多様性の大切さや山の楽しさが伝わった。
- ・（南アルプスには）静岡県側からのアクセスの悪さもあり、なかなか行けない。

静岡県側にも南アルプスの学習拠点があると良い

- ・地学の知識が乏しい中で、とても興味深く聞かせていただいた

### ② 理科の課題

- ・生徒に興味を持ってもらうことが難しい。本物を見せる（写真など）ことや自分で行くことが必要。
- ・植物の名前を知らない高校生が多い。
- ・地学に触れることが少ないのではないか。
- ・生物は教科書の内容がどんどん変化している、知らないことを教えないといけない。

## 9. アンケートより

### ① 研修の内容

- ・生物多様性について具体性のある話であった。地形、植物相、動物相について環境の影響とともに勉強になった。
- ・生徒を山に連れて行くときに話をする内容が増えた。特に地形、ライチョウなど。
- ・大学の先生の話はためになります。
- ・生物基礎及び生物の「植生」「多様性」を学習するための参考になった。

### ② 今後の内容に期待するもの

- ・生物学の中でも新しい内容が増えている分子生物学などについての講演について聞きたいです。
- ・新課程への対応
- ・実験を見られるそのままあつかえるようなものに触れてみたい。